

項目	概要
日時	2022年9月9日（金）13:00～14:00
場所	Web会議によるオンライン開催（Webex）
議事次第	<p>(1)開会 中尾彰宏 国際委員会委員長ご挨拶</p> <p>(2)技術分科会活動方針報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティワーキンググループ 三宅 WG 長 ご発表 ・時空間同期ワーキンググループ 花土 WG 長 ご発表 <p>(3)Beyond5G 推進に向けた日本企業と外国企業の連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノキアソリューションズ&ネットワークス アンドレアス様 ご発表 <p>(4)今後の会合開催日程</p> <p>(5)閉会 中尾彰宏 国際委員会委員長ご挨拶</p>
参加者数	約 90 名

以下、議事要旨。

(1)開会 中尾彰宏 国際委員会委員長ご挨拶

- 皆様お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。国際委員会を開催いたします。9月8日のOpen RAN 推進分科会の際でも申し上げましたが、具体的な活動がかなり進展してきております。本日もご発表を頂きますが、22年度も後半戦に入るといふことで、時間も経ってきている中、いよいよコンソーシアムの活動も加速していきたいと考えております。本日もどうぞよろしくお願い申し上げます。

(2)技術分科会活動方針報告（セキュリティ WG 及び高周波 WG）について発表が行われた。

(3)Beyond5G 推進に向けた日本企業と外国企業の連携について発表が行われた。

以下の質疑応答が行われた。

- 暗号化の基本的な要件と対応は非常に分かりやすかったです。ありがとうございます。今後、社会インフラや AI ロボット等のアプリ、端末等の比率が上がってくる中、暗号化等の根本的な防衛に加えてネットワークの機能としてリアルタイムでの制御や防衛等のダイナミックな機能、プラットフォームが標準化等に加わってくるのでしょうか？既に検討済みでしたらご容赦ください。（桑津 国際委員会副委員長）
 - 端末の種類が多用化する中で、ご指摘のようなネットワークとしての防衛も大きなテーマだと考えられており、標準化の世界でも検討が必要との意見もありますが、まだ方向性は見えていない段階です。サイバーセ

セキュリティ関係で、事業者間でどう連携するかは難しい問題で各所から提案があるものの、標準化がしにくいところという見方もある。とはいつつも、5Gでは4Gまで多く会った事業者間の部分に対する攻撃についてブロックする仕組みを入れようということで3GPPで標準化されて新しい機能が入った話もある。なんらか新しい方法が見つければ検討進むところもあると思うが、まだまだこれからの段階かと考えている。

(三宅セキュリティWG長)

- もしNTNに関するセキュリティの議論が進んでいましたら教えてください。(豊嶋スケーラビリティWG長)
 - 地上系と宇宙等非地上系のネットワークを相互接続する際のセキュリティの在り方は、重要なテーマと認識されている一方、まだ話が進んでいないという認識。相互接続の際の低遅延や高速化、シームレスな接続の上でのセキュリティ担保は重要な課題という認識自体はあるが、これからの話である理解。(三宅セキュリティWG長)
- 技術WGの趣旨は我が国で技術的に進んでいる企業を紹介して国際連携を深めていくということを置いているが、本日の2WGの発表でも個別企業のお名前が挙がっていたと認識している。特に時空間同期はアプリケーション部分で強い企業様を呼び込んで、対外発進を進めて頂きたいと考えている。両WG長からみて、今後より多くの強い技術をお持ちの企業を巻き込んでいく中で、今後の抱負や方向性についてお考えをお聞きしたい。(中尾委員長)
 - アプリケーション部分でどの企業と組めるかは当WGとしても大きな課題であると認識している。企業に声掛けも行ってきているが、要素技術に近い部分であるため、実用面での活用を踏まえた際の議論にギャップがあり、苦心している。そのため、何か活用可能性のある技術をお持ちの企業様で共同での研究や開発を進めていけるような企業がいらっしやると大変ありがたいと思っている。是非皆様からのご紹介を頂きたいと考えている。(花土時空間同期WG長)
 - 国際的に注目度も高い領域であるので、是非今後も進めていっていただきたい。(中尾委員長)
 - 暗号以外のところでいえば、AI周りのセキュリティ関連は様々な議論が行われている。AIの悪用も増えてきており、それらの研究は日本でも立ち上がってきているという認識のため、今後そのあたりに取り組みされている企業を探していきたいと思う。AI自体をセキュリティに使う議論も重要である認識。ネットワーク系では、ネットワークが出来てからセキュリティを考えるという順番が多いのだが、後付けのセキュリティでは上手くいかないところなので、アーキテクチャレベルからセキュリティ

も考えていかなければいけないと議論も出てきているので、その分野において国際的な連携も進めていきたいと考えている。(三宅セキュリティ WG 長)

- 時空間同期についての質問です。特に時刻に関して、端末やクラウドのレイヤでは、どの程度の確からしきで同期が必要なのでしょうか。アプリケーションで異なるとしたら、どのような要件が同期精度を定めることになるのでしょうか？
(古野電気 近藤様)

➤ こちらについては花土 WG 長に確認頂いたうえで別途返答する。(中尾委員長)

(4) 今後の会合開催日程、お知らせについて発表が行われた。

(5) 閉会 中尾彰宏 国際委員会委員長ご挨拶

- 本日も短い時間で内容を詰め込んでしまいましたが、素晴らしい講演を3つ頂きました。技術委員会では今後も、日本の、技術が強く海外発信されたい企業に情報発信を頂きたいと思う。本日はノキアのアンドレス様に発表を頂きましたが、オムロンおよび NTT ドコモとの協業の例が出ておりましたし、ノキアがフィンランドの企業ではなくグローバル企業なんだ、というお話は非常に印象的でした。今後、ノキアだけでなく、このような国際連携については今後も他の企業にご発表頂きたく考えておりますので、ご発表頂ける場合は事務局までお知らせください。今後とも引き続き国際委員会をよろしく願いいたします。本日はありがとうございました。

以上